

第3号様式1

記載例

東京都知事 殿

本報告書及び歳入歳出決算書抄本には、捺印を押していただくよう、御協力をお願いします。

日付を記入

令和5年4月1日

- ・印鑑証明書と同じ内容を記載してください(建物名や部屋番号を追記することは差支えありません)。
- ・施設名は、原則として事業所指定を受けた内容と一致するよう記載してください。
- ・代表者の職名も記入してください。

法人名 社会福祉法人〇〇〇会  
施設名 特別養護老人ホーム〇〇〇園  
代表者職氏名 理事長 東京 太郎  
法人住所 東京都新宿区西新宿〇丁目〇番地

印

令和4年度 外国人介護福祉士候補者受入施設研修費補助金実績報告書

印鑑登録の印鑑を必ず使用してください。

令和5年2月21日付4福保高介第1915号により交付決定を受けた標記の補助金について、下記のとおり報告します。

記

1 精算額 393,000 円

2 報告書類

- (1) 令和4年度外国人介護福祉士候補者受入施設研修費補助金精算書(第3号様式1の1)
- (2) 外国人介護福祉士候補者受入調書(実績報告用)(第3号様式1の2)
- (3) 精算内訳書(第3号様式1の3)
- (4) 令和4年度外国人介護福祉士候補者受入施設研修実績報告書(第3号様式1の4)

3 添付書類

- (1) 当該事業に関する歳入歳出決算書抄本
- (2) 領収書、見積書の写し等の補助対象経費を積算した根拠資料  
金額換算可能な各種ポイントが付与・利用された場合の当該ポイント相当額の確認できる根拠資料
- (3) その他参考となる資料

作成例を参考に、任意の様式による抄本を提出してください。

補助金担当者を記入してください。

担当	部署	〇〇部〇〇課
	電話	03-5320-4267
	氏名	介護 花子

令和4年度 外国人介護福祉士候補者受入施設研修費補助金精算書

法人名	社会福祉法人〇〇〇会
施設名	特別養護老人ホーム〇〇園

「受入調書」(第3号様式1の2)における都補助基準額の合計額に記入した内容が自動的に入力されます。

「精算内訳書」(第3号様式1の3)における補助対象経費の小計に記入した内容が自動的に入力されます。

対象経費の支払時に金額換算可能な各種ポイントを利用した場合には、当該ポイント相当額を控除した額が対象経費の実支出額となります。

「精算内訳書」(第3号様式1の3)における合計(総事業費)に記入した内容が自動的に入力されます。

使途を当該事業に限定した寄附金等があれば、記入してください。

対象経費の支払時に、金額換算可能な各種ポイントが付与された場合には、当該ポイント相当額を「寄附金その他収入額」に計上してください。

交付決定を受けた額を記入します。

単位:円

	都補助基準額 (A)	対象経費 の実支出額 (B)	選定額 (C) (AとBとを比較 していずれか小 さい方の額)	選定額合計 (C' = Cの合 計)	総事業費 (D)	寄附金そ 他の収入額 (E)	差引後総事業 費 (F) = (D - E)	都補助金精算 額 (G) (C' とFとを比較 していずれか小 さい方の額) (千円未満 切捨て)	既交付額 (H)	差引過不足額 (I) = (H - G)
(1) 日本語学習、介護分野 の専門知識の学習及び学 習環境の整備	313,000	570,410	313,000	393,000	762,410	420	761,990	393,000	400,000	7,000
(2) 喀痰吸引等研修経費	0	0	0							
(3) 研修担当者の活動経費	80,000	80,000	80,000							

(注) 1 A欄の詳細な内訳を、「外国人介護福祉士候補者受入調書(実績報告用)」(第3号様式1の2)に記入すること。

2 B欄及びD欄の詳細な内訳を、「精算内訳書」(第3号様式1の3)に記入すること。

3 E欄には、使途を当該事業に限定した寄附金等があれば、記入すること。また、対象経費の支払時に、金額換算可能な各種ポイントが付与された場合には、当該ポイント相当額を記入すること。

外国人介護福祉士候補者受入調書(実績報告用)

						施設名	特別養護老人ホーム〇〇園	
						事業内容: 候補者の日本語学習、介護分野の専門知識の学習及び学習環境の整備	事業内容: 候補者の喀痰吸引等研修の受講に対する支援	事業内容: 候補者の研修を担当する者の活動に対する支援
	候補者氏名	候補者国籍	入国年度	申請年度の受入施設での就労月数	喀痰吸引等研修の受講に要する経費の既交付年度	都補助基準額① (円) 候補者につき、235千円に就労月数を乗じ、12で除した額(千円未満切捨て)	都補助基準額② (円) 候補者につき、95千円※滞在中1回のみ交付可。 ※今年度申請をする場合のみ、記入してください。	都補助基準額③ (円) 1施設につき、80千円
1	Hanoi Ho Chi Minh ハノイ・ホーチミン	ベトナム	令和3年度	12		235,000		
2	Sumatra Java スマトラ・ジャワ	インドネシア	令和4年度	4		78,000		
3	・雇用契約書の「就労者の氏名」欄に記載された氏名を記入してください。 ・上段には英語、下段にはカタカナで記載	候補者国名、入国年度はプルダウンリストから選択してください。	・令和4年度における受入れ施設での就労月数を記入します。 ・雇用契約の始期が属する月及び雇用契約の終期が属する月は、いずれも就労月数に含めます。	都補助基準額①は自動入力されます。	0			
4					0			
5				0				
6				0				
7				0				
8				0				
9				0				
10				0				
11				0				
12				0				
13				0				
14				0				
合計						313,000	0	80,000

「写真項番」欄  
は  
記載不要です。

備品等については、EPA候補者学習支援目的であることが分かるよう、使用目的を備考欄に記載してください。

※科目区分の欄には、報償費、需用費などの科目を記すこと。  
※領収書の写し等、補助対象経費の内容について具体的に分かるものを添付すること。

## 令和4年度外国人介護福祉士候補者受入施設研修実績報告書

施設名

特別養護老人ホーム〇〇園

1 令和4年度の受入れ人数

2 人

特記事項の欄には、「研修内容」に記載した研修に係る経費の添付資料を記載してください。

2 実施した研修について ※研修の時間割や配布資料等、研修内容について具体的に分かるものを添付すること。

分野	研修(実施)内容	特記事項
日本語学習関係	ハノイ・ホーチミンについては、令和4年10月から、〇〇〇日本語学校のプライベートレッスン(1回2時間)を、週2回(水曜日、金曜日)を受講した。 スマトラ・ジャワについては、令和4年12月から、地元のボランティアによる日本語レッスンを週1回(木曜日、1回当たり2時間)受講した。	添付資料：〇〇〇日本語学校パンフレット
国家試験関係 (介護分野の専門知識学習)	介護職としての勤務を円滑に実施できるよう、研修支援者を中心に、OJTによる実技指導に重点を置いた。 ハノイ・ホーチミン、スマトラ・ジャワに対して、筆記試験を見据え、専門用語の学習を行った。	すぐ引ける介護用語ハンドブックを活用した。
学習環境の整備及び 研修担当者の活動内容	学習机、プリンターを購入し、施設内で学習ができる環境を整えた。 令和4年10月から週2回(火曜日、木曜日)、施設研修担当者による日本語及び介護知識についての指導を行った。	添付資料：学習机領収書、プリンター領収書、研修担当者活動報告書
その他	地元の英会話サークル〇〇主催の住民交流会に参加した(令和4年8月)。 ※※※中学校の依頼に基づき、総合的な学習の時間に講師として訪問した(令和4年11月)。	